

5月

# 阿尾公民館だより

氷見市阿尾公民館  
氷見市阿尾1015  
TEL・FAX 74-3504

## 阿尾保育園入園式

4月3日(金)、入園式が行われました。新入園児7名の笑顔が新型コロナウイルスで沈みがちな世間の雰囲気をもくしてくれました。この7名は、地域の宝です。大切に育てましょう。



## 海峰小学校入学式

4月7日(火)、来賓2名(育成会長・後援会長)に絞ったり、椅子の間隔を広くとったり、マスクを付けたり等、新型コロナウイルスの感染に十分配慮し、入学式が挙行されました。新入生7名は、少し緊張気味でしたが、しっかりした態度で、小学校生活への期待が膨らんでいるようでした。





## \*公民館主事の独り言

「俺たちは一体何を守ってきたんだろうな。」、これは、第43回日本アカデミー賞で最優秀作品賞を受賞した映画「新聞記者」の中で主人公が発した言葉である。

Story…東都新聞の若手記者・吉岡(新聞記者だった父は、真実だったが誤報と決めつけられ自殺した)は、忖度や同調圧力にも屈しない。社内でも異端児扱いされている。

ある夜、社会部に「医療系大学の新設」に関する極秘文書が匿名FAXで送られてくる。認可先は文科省ではなく、内閣府。内部リークか、それとも誤報を誘発させる罠か？

内閣情報調査室で働くエリート官僚の杉原は葛藤していた。国民に尽くすという信念と裏腹に現政権を維持するための世論コントロールをさせられていたことに疑問を感じる。そんなある日、恩義のある先輩神崎と旧交を温めた数日後、神崎がビルの屋上から身を投げてしまった。「俺たちは一体何を守ってきたんだろうな」。杉原は、官僚としての生き方を根底から揺さぶられた。

神崎の通夜で、無遠慮な質問を投げつける吉岡とそれを注意した杉原は出会い、言葉を交わす。「私は、神崎さんが亡くなった本当の理由が知りたいんです。」真相を追いかける記者と官僚は驚愕の真実に突き当たる。そして…

忖度せず、何が大切か見極める目をもち、信念をもって行動する力をもちたいものである。



## ○5月の講座案内

※4月の講座は中止になりました。5月の講座をお知らせしますが、新型コロナウイルスの感染が治まる傾向が見られない場合は、再度中止する可能性があります。

講座名	曜日	開設日	講師等	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	1日 15日	西山栄津子	13:00～ 19:00～	洋室
かな書道	第1・3月曜日	6日 20日	猶明 光華	13:00～	洋室
茶 道	土曜日(原則週2回)	4日 11日 18日 25日	栗山 静子	14:00～	和室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	2日 9日 16日 23日 30日	栗山 静子	15:00～	和室
詩 吟	毎週火曜日	7日 14日 21日 28日	布野 克巳	19:30～	洋室
手 芸	第3火曜日	21日	伏木あい子	13:30～	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	4日 11日 18日 25日	大野 朝子	19:30～	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	3日 10日 17日 24日	大野 朝子	13:00～	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	1日 6日 8日 13日 15日 20日 22日 27日 29日		13:30～	和室
フラダンス	第1・3火曜日	7日 21日	東軒みさ子	19:00～	和室

## 卒園を祝う集い

3月24日(火)、阿尾保育園で卒園を祝う集いが行われました。3名の園児が保育園を巣立っていきました。

吉崎園長先生の卒園する子供たちへの熱い思いを感じる言葉が印象に残りました。また、園長先生が最後ということもあり、感慨深いものがありました。園児の退場時には、桜の花が舞うというサプライズもありました。



## 防犯カメラの設置

子供たちを不審者等から守るため、公民館の入口に防犯カメラを設置しました。ご理解ください。

防犯カメラだけで子供の安全が確保できるわけではありません。家庭では、「自分の身は自分で守る」という姿勢を子供に身に付けさせたいものです。

